

2025年12月18日

報道関係者各位

福岡国際空港株式会社
九電ネクスト株式会社

福岡空港貨物地区にPPA方式での太陽光発電設備を導入します！ ～カーボンニュートラルに向け、年間500t-CO₂削減～

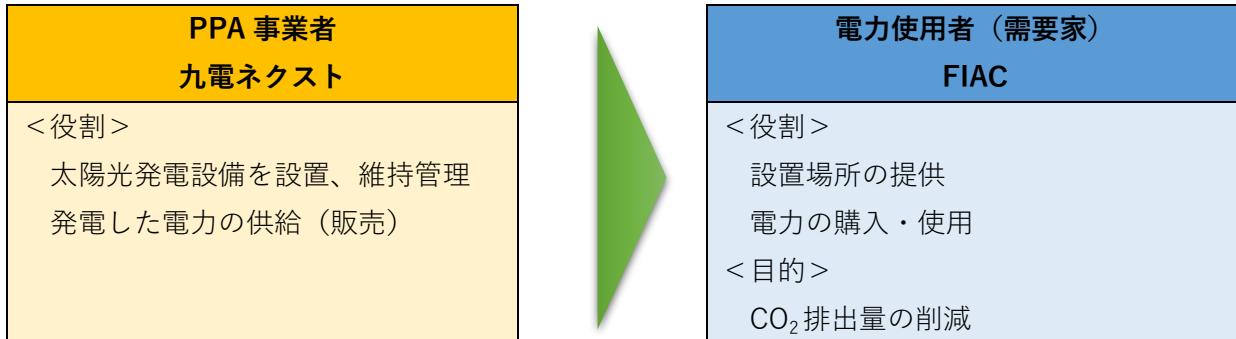


- 福岡国際空港株式会社（以下、FIAC）と九電ネクスト株式会社（以下、九電ネクスト）は、福岡空港のカーボンニュートラルに向けPPA契約※1を締結し、2026年1月1日（木）に福岡空港の貨物地区の建物屋根に太陽光発電設備を導入します。発電した電力は全量を福岡空港で活用します。
- FIACでは国土交通省航空局が作成した「福岡空港脱炭素化推進計画（令和6年4月）」に則り、2030年度までに2013年度比で温室効果ガスを50%削減し、2050年度にはカーボンニュートラルを達成することを目指しております。これまででも国際線旅客ターミナルビル屋根への太陽光発電設備の導入や航空灯火・建物照明のLED化、国内線壁面緑化導入等に取り組んでまいりました。
- 今回、FIACが所有する福岡空港の貨物地区にある国内貨物代理店棟、国内貨物上屋、国際貨物上屋の屋根に、九電ネクストが容量1.1MWの太陽光パネルを設置し、年間想定発電量1,289MWhを福岡空港貨物地区および国際線地区に供給します。本事業によりFIACの年間想定CO₂削減量は500t-CO₂となり、FIACの年間CO₂排出量を約2.4%※2削減することができる見込みです。
- なお、本事業は国土交通省の「令和6年度空港脱炭素化推進事業費補助金（設備導入支援）」を活用しており、設置会社である九電ネクストが補助金を受給予定です。
- FIACおよび九電ネクストは、カーボンニュートラル達成を目指し、今後も脱炭素化に関する取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

1 PPA契約（Power Purchase Agreement）とは、発電事業者が需要家の敷地に発電設備を設置し、発電した電力を需要家に供給する契約形態

2 2019年度の排出量20,713tとの比較。

■ PPA 事業スキーム概要



■ PPA 事業概要

設置場所：福岡空港貨物地区 (1)国内貨物代理店棟、(2)国内貨物上屋、(3)国際貨物上屋



太陽光パネルサイズ	1,762mm × 1,134mm
設置枚数	2,643 枚
太陽光発電容量	1.1MW
年間想定発電量	1,289MWh/年（全量自家消費）
年間想定 CO ₂ 削減量	500t-CO ₂ /年
PPA 事業者	 九電ネクスト
施工業者	
契約期間	20 年間
稼働開始日	2026 年 1 月 1 日（木）

■ 今回の活動と SDGs のつながり

本活動を通じ、持続可能な社会の実現を目指す SDGs の以下の項目の目標達成に貢献します。



■ 会社概要

福岡国際空港株式会社 会社概要

代表者：代表取締役社長執行役員 田川 真司

本社所在地：福岡県福岡市博多区大字下臼井 782 番地 1

資本金：178 億 5,000 万円

事業内容：福岡空港の空港運営等事業、ビル施設等事業、その他付帯する事業等

URL : <https://www.fukuoka-airport.co.jp/>

九電ネクスト株式会社 会社概要

代表者：代表取締役社長執行役員 二宮 浩一

本社所在地：福岡県福岡市中央区白金一丁目 17 番 8 号

資本金：10 億 6,851 万円

事業内容：エネルギーソリューション事業、小売電気事業、九州電力からの受託業務

URL : <https://www.qnext.kyuden.co.jp/>

【本件に関する問い合わせ先】

福岡国際空港株式会社 総務部 広報課 担当：今村

TEL : 092-623-0611 Email : fiac-koho@fukuoka-airport.co.jp

九電ネクスト株式会社 技術統括本部 エネルギーサービス事業部 担当：三輪

TEL : 092-526-3306 Email : honsha_teianneigyou@qnext.kyuden.co.jp